

# 資料室便り

交通経済研究所資料室

## ■新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

### 『ガストロノミーツーリズム

——食文化と観光地域づくり』

尾家建生，高田剛司，杉山尚美著／学芸出版社発行／2023年7月／A5判／188ページ／2,420円（税込）

本書は、フードツーリズムとそれを進化させることによって生まれたガストロノミーツーリズムについて解説したものである。地域の「食」の体験を目的としたフードツーリズムは、地方や都市の観光開発の重要な手法として、世界的に広がったものである。そして、ガストロノミーツーリズムは、旅行中の食品および関連製品や活動に関連する観光活動であり、「場所の味覚」を産地に求める人の移動を伴って成立し、その対象は、歴史、文化、地理、経済、地域社会により構成されている。ガストロノミーという概念は、「美味しい」を基準としながらも、フードの範疇を超える。欧米では都市経営戦略の一つとして、観光振興と地域活性化の推進力になっている。日本でも食文化を通じて、各地域の魅力を旅行者に提供するだけでなく、体験を豊かにし、地域のつながりを深めることができる可能性を秘めている。古森□

## ■書庫のなかから（所蔵資料の紹介）

### 『国鉄歴史事典（日本国有鉄道百年史別巻）』

日本国有鉄道／1973年12月

鉄道開業150年を記念して、歴史を新たに記録すべく、公益財団法人交通協会が取りまとめた『鉄道百五十年史』（5巻+別巻）がまもなく刊行

される。「資料室便り」の初回（2020年3月号）において紹介した通り、鉄道開業100年にさいしては、『日本国有鉄道百年史』が国鉄によって刊行された。本書はその別巻である。内容は、線路網の進展、車両の変遷、特急列車の変遷、電化の進展、料金・運賃の変遷、新幹線など多岐にわたる。本巻とはかなりスタイルが異なり、統計・図表、地図、年表、写真が中心となっているほか、鉄道に関するトピックスが各所にちりばめられている。編集後記に記された「鉄道全般について一冊で必要な知識を満たす」という刊行目的の通り、手軽に利用できる鉄道史ハンドブックである。土方□

## ■新着情報（2023年8月分）

- 1 都市・地域交通年報2020（令和2）年版 運輸総合研究所 同法人 2023年8月
- 2 鉄道技術との60年——民鉄技術の活用と世界への貢献 曾根悟 成山堂書店 2023年7月
- 3 船舶事故調査——タイタニック，洞爺丸から運輸安全委員会まで 大須賀英郎 ミネルヴァ書房 2023年7月

→続きの情報はホームページで

\* 上記以外の新着図書や新着雑誌につきましては、ホームページをご覧ください。キーワードによる蔵書検索も可能です。併せて月別の「新着図書目録」も掲載しています。



## ■資料室からのご案内

資料室では、海外で発行された資料も収集・保管しています。たとえば、雑誌では『Railway Gazette International』（英文）、『Deine Bahn』（独文）、『La Vie du Rail』（仏文）などがあり、50年以上前から収集し続けているものもあります。すべて手に取ってご覧になれるので、ぜひ資料室にお越しください。

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳